美術資料通信

美術資料でつながる

まなび！net

Vol.06
2022.03

秀学社

今回の改訂で充実した「美のガイダンス」

新しくなった『美術資料』をご覧になって、さっそく現場の先生方からご意見や感想をいただいています。今回はその一部を紹介し、著者の横田学先生にコメントをしてもらいました。

横田 学（よこた まなぶ） 先生

プロフィール
これまでに、京都市立芸術大学教員（2002～2020年）、京都府立学校教諭、京都府教育庁指導部学校教育課指導主事、高等学校学習指導要領解説作成協力者（文部科学省）、評価規準研究開発協力者（国立教育施策研究所）、中央教育審議会教育課程部会芸術ワーキンググループ委員などに携わる。現・京都市立芸術大学名誉教授。

・メイキング動画
・作家からのメッセージ

○表　紙

楽しそうな表紙になりましたね。田中達也さんの作品については、QR コードからメイキング動画や作家のメッセージを見ることができ、生徒たちの創作意欲を刺激してくれると思います。授業の導入に使えそうですし、発想・構想の場面でヒントにもなりそうです。

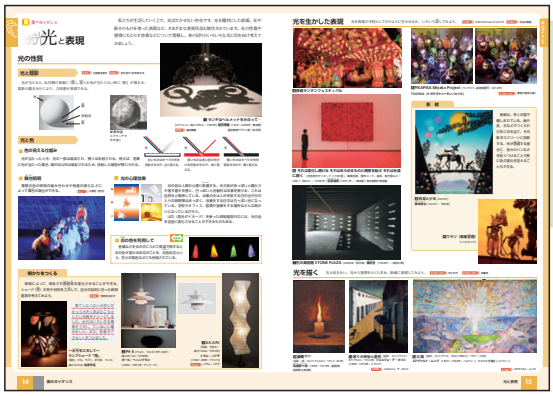
漠然と対象を見るだけではなく、何かに見立てたり関連付けたりする活動は、イメージを豊かに膨らませたり、想像力を高めたりする良いトレーニングになりますね。

P.33 》 イメージでとらえる

○暮らしの中の色 P.8-9

商品のパッケージを見て、色や形の組み合わせから「どんな味がすると思う?」と話し合いなどをすることで、デザインの力を身近に感じることができそうです。

色の学習は、12 色相環や色の三要素（三属性）に留まらず、色が私たちの感情にもたらす効果や、生活のどんな場面で、どのように働いているのかなどについて考えることが大切ですね。



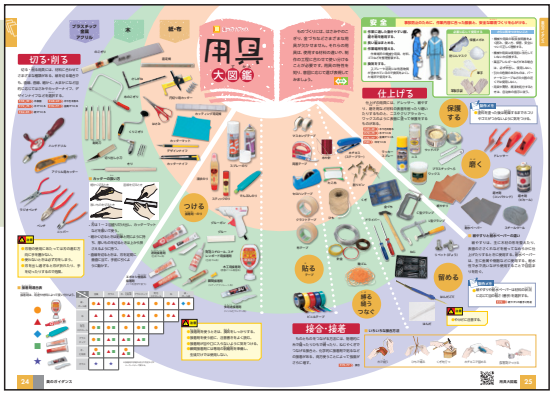
○光と表現 P.14-15

「光」は昔から人の心を魅了してきた要素ですし、学習指導要領の共通事項にも含まれるものですから、それをこのページで学べるのはいいですね。

光の性質や効果については、頭で考えるだけでは実感しにくいので、教室を暗くし、ライトなどを使って実際にさまざまな実験をしてみることも大切です。また理科の光の学習とも関連させたいものです。

○用具大図鑑 P.24-25

用具を使う時、まず安全の確認は必要不可欠です。また、ひと言で「接着する」と言っても、何と何をくっつけるかで選ぶ接着剤は変わるので「接着剤適合表」は役立ちます。



自分の発想・構想したことを実現するためには、どんな用具などをどう使うのか。まず自分で調べてみるなど、主体的な活動としても大切にしたいことです。

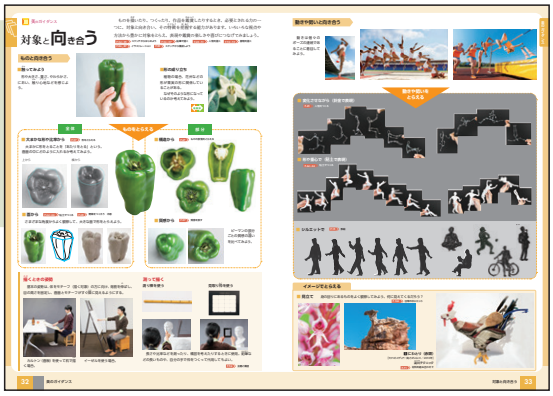
○構想を形に P.30-31

生活で使うものをいざ自分たちがつくるとなるとなかなかアイデアが出てこない。生徒に本当に考えさせ、良い意味で頭をフル回転させて、「ものづくりって難しい。」と言わせたいです。

生活で使用するもののデザインでは、使う人や使われる場など求められる条件や機能などをしっかり意識することが求められます。鑑賞編 P.152-153 生活のデザインをページと組み合わせて、デザインが社会で果たす役割や働きについても考えさせたい。

○対象と向き合う P.32-33

こんなページがほしかった！　授業で「モチーフをよく見ましょう」と言うけど、具体的に何を、どう見たら良いのか、わからない生徒が多いと思います。モチーフをとらえるコツがわかるはずです。



美術科の目標に「造形の見方・考え方を働かせ」とあるように、「ものをとらえる」は美術の学習のすべてに関わることです。いつもとは少し違った視点で対象を見るだけで、新しい発見があることに気付かせる指導が大切です。

横田先生への質問

Q 「アイデアが浮かばない」という生徒がいます。何かヒントになるようなページはありますか？

A 一口にアイデアが浮かばないと言っても、うまく発想できないのか、思いついたものを具体化するための構想ができないのか、構想したものを実際に色や形にするのが難しいのか、状況によって異なります。生徒の状況や表現の内容に応じ、P.26-27「発想し、構想を練る1」、P.28-29「発想し、構想を練る2」、P.30-31「構想を形に」、P.32-33「対象と向き合う」などのページを使ってアドバイスしてみてください。

※次号も現場の先生方からご意見や感想、質問などを紹介させていただきます。

秀学社の美術学習サポート

授業だけでなく家庭学習などにもご活用ください。

●『美術資料』の詳細や、ワークシートなど各種ダウンロード資料を提供しています。

秀学社Webサイト
https://www.shugakusha.co.jp/

先生の声をお聞かせください。

今号へのご意見や著者へのメッセージ、ご質問など、**「お問い合わせフォーム」**よりお気軽にお寄せください。

お問い合わせフォーム
https://www.shugakusha.co.jp/form_otoiawase/

発行　株式会社秀学社　大阪市住吉区南住吉4-7-5